



令和6年度 大泉地域委員会実施事業一覧表

事業名	事業費(千円)	事業内容
大泉ふるさと夏祭り	4,100	伝統文化や人とのつながりを大切に、地域の特色や個性を活かした、地域振興・産業振興につながる手づくりイベントの開催。
大和神楽・浦安の舞の伝承	255	市指定の無形文化財等である伝統文化の「大和神楽・浦安の舞」の伝承及び保存に努める。
いずみの里太鼓	94	いずみの里太鼓の伝承及び保存に努める。
ボランティア団体等支援事業	855	社会福祉協議会大泉支所福祉事業の推進(80歳以上一人暮らし等への配食サービス、老人クラブ連合会活動支援)
女性活躍応援事業	217	母子愛育班、食生活改善推進委員会の活動支援
地域の環境整備推進事業	2,112	大泉町内行政区(地区)・団体等の道路愛護・河川清掃活動、花のまちづくり事業への補助。
地域づくり事業	2,588	各地域で行う自主的、主体的な地域づくりへの取組みを支援し、地域の持続的な発展に資する地域の伝統行事などの活動への補助。
水源環境整備事業	680	農業用ため池等の水害防止のための草刈り等の管理、整備を行う西井出組、谷戸組への補助。
お宝発見教育	567	地区育成会活動助成及び本町の伝統スポーツであるスケートスポーツ少年団への補助、PTAの地域安全活動への補助。 スポ少85・PTA293・育成会189
その他事業	314	大泉遺跡・史跡と親しむ会活動支援事業 38 各種団体提案事業 100 地域委員会だより発行、会議費等 176
計	11,782	

「地域委員会だより」に寄せて

大泉地域委員会 会長 齊藤 けさ子

皆様には、日頃より大泉地域委員会活動にご理解・ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

大泉地域委員会では、より良い地域づくり、地域の活性化を目指して、地域の皆様のご協力をいただきながら、伝統・文化の継承、町民の健康増進、子ども達の健全育成、ボランティア団体等支援事業など、活気ある町づくりに取り組んで参りました。

その一つであります「大泉ふるさと夏祭り」事業。恒例になっていきます八月十一日、「山の日」に開催。地域や企業の方々から、たくさんの方の協賛をいただき、盛大な花火大会や抽選会、また出店やステージでの催しと、大泉町らしさが随所に出た祭りになったのではないかと思います。会場は、人々の笑顔でいっぱいでした。

地域の人々のつながり、地域の活性化を図るといふ観点から、祭りの重要性が再確認されたところでした。

地域委員会は、令和八年度より時代に即した体制での実施を検討していくとの事ですが、事業の継続が図られるよう働きかけを行っていきたいと思っています。

今後も大泉町の特色を大事にし、より良い地域づくりを目指して参りたいと思います。皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

令和六年度 大泉地域委員会名簿

- 会長 齊藤 けさ子  
副会長 浅川 輝夫  
委員 浅川 稔(谷戸組)  
五味 茂(西井出組)  
小林 直幸(行政区長)  
加藤 幸吉(スポーツ協会)  
浅川 治喜(文化協会)  
浅川 孝夫(民生児童委員協議会)  
山田 榮治(老人クラブ連合会)  
田邊 真美(母子愛育班)  
中嶋 栄(食生活改善推進員会)  
浅川 倫世(学識)  
小宮山 修(学識)  
小宮山 幸枝(学識)  
三井 勝己(学識)  
山下 和人(公募)

【編集後記】

昨夏の「大泉ふるさと夏祭り」も無事盛大に開催され、地域の「絆」を強く実感することが出来ました。

令和六年十一月には、市長選挙、市議会議員選挙が行われ、大泉町からは三名の方が市議会議員と選ばれました。各地域とも諸問題を抱える中、大泉町の地域発展のため、地域住民と共に尽力して頂きたいと期待しております。

大泉地域委員会は、地方自治を考える上で、地域住民と行政の繋がりを強化し地域安民を具現化する事に努力しております。

毎年のように日本列島を襲う大災害に対し、地域防災や減災活動、各家庭での災害に対する意識の強化は図られていると思いますが、地域の共助をもって対処していく事が強く求められております。大泉地域委員会といたしましても、なお一層の努力をしてみたいです。

地域住民全員参加で、幸せを実感し「絆」を育むように、皆様方の貴重なご意見をいただきながら、今後の大泉地域委員会活動に活かしてまいりますので、皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

編集委員長 山下 和人  
編集委員 浅川 倫世

具体的には、次の様な活動をしています。

- 市長が諮問する事項について審議し答申する。
- 市が処理する事務に関する事項について、市長に意見を述べる。
- 市長が定める予算の範囲内において、各地域の事業に関わる予算の用途を決定する。

※各地域には、地域活性化イベント開催支援、環境保全、地域独自の伝統文化の伝承、各種ボランティア及び人材育成支援、まちづくりグループなど活動支援、自治会活動支援などがあります。

地域委員会とは

市と市民とが協力してよりよい地域づくりを行うために、市内8町のそれぞれに配置された委員会です。大泉町では16名の委員で構成されています。

この委員会は、市の付属機関であり、諮問(意見を尋ね求められること)及び建議(意見を申し立てること)を行います。市長や議会の権限を侵さない範囲で、地域住民の声を行政に反映する「知恵と創造の場」としての役割を担っています。

「大泉母子愛育班」

班長 田邊 真美

私たち大泉母子愛育班は、北杜市ニューボラ推進課と協力しながら、妊婦さんや乳幼児、その親御さんをはじめ、地域の皆様の健康的な生活を応援することにより、明るく住みよい地域を作ることを目指して活動しています。

主な活動内容は、赤ちゃんプレゼント訪問や班員を対象とした研修会等を実施しています。今年度の研修会では「ゆる体操」の講師の方をお招きし、班員の健康増進を図りました。同時に保健師の方より大泉町における子育ての実情を講演いただきました。その他、北杜市ベビー教室のお手伝いも随時行っています。

大泉地域委員会の委員としては、食生活改善推進委員会の方々と共に「大泉ふるさと夏祭り」で、そばの無料配布の担当をしました。

また、12月には「愛育まつり」を開催しました。この「愛育まつり」は、四年ぶりの開催となり、役員一丸となって準備を進めました。当日は、大勢の子ども達に輪投げやボーリング、クラフト等を楽しんでいただき、開催出来たことを大変嬉しく感じました。

来年も引続き有意義な活動が出来るよう努めていきたいと思ひます。

※ニューボラとは…フィンランド語で「相談の場」という意味で、北杜市では「子育ての支援をする場」としています。

活動報告

西井出組

組長 五味 茂

本年度、西井出組代表として初めて大泉地域委員会に参加し、地域づくりの為の様々な活動を知りました。西井出組は、水源環境整備事業、伝統文化継承事業などに補助金を交付されており、西井出組には、昔から受け継いだ山林や湧水、ため池など多くの財産があります。それらを維持管理するために、補助金を活用させていただいておられます。土地管理委員や役員による山林の下草刈り、ため池や水源地の草刈りを行っています。環境整備、生活用水や農業用水などの安定的な確保のため、日々努めております。また、史跡・遺跡の保全活動などにも一年を通して活動してきました。

谷戸組

組長 浅川 稔

令和六年一月一日の所属組(豊田組)のお日待ちにおきまして、令和六年度の谷戸組組長への就任が決まりました。伝統ある谷戸組の組長は自分には荷が重く感じましたが、四月より活動を開始しました。幸いにも前組長 伍長総代、相談役等の幹部組員の皆様は全員年上と言ふ事もあり、力のない私を後ろから支えていただき、何とか一年間の重責を果たすことが出来ました。特に前組長には、大変なご苦労をいただいた事に心より感謝申し上げます。大泉地域委員会の委員として活動してきた中で最も印象に残ったのは、やはり「大泉ふるさと夏祭り」であります。このイベントは実行委員会が主体となり、市や様々な各種団体が協力し合いながら運営されており、地域活性化や地域住民のつながりを維持することを目的とした最大のイベントであり、大人から子どもまで楽しんで開かれる姿は微笑ましく思いました。これからも継続して開催されるのが重要であると感じました。最後に谷戸組は、組員の減少により古くから守られてきた資産、権利などの維持が困難となり始めており、時代の流れに沿った改革の必要性を感じた一年であったことを記し、活動報告いたします。



ふるさと夏祭り「園児のお遊戯」



ふるさと夏祭り「いずみの里太鼓」



ふるさと夏祭り「よさこいソーラン」



ふるさと夏祭り「みんなで踊ろう」



お宝発見教育



愛育まつり



浦安の舞

私たちの町づくり事業

地域委員会は次の団体や事業の活動に助成しています。

- [北杜市大泉ふるさと夏祭り]
- [大和神楽・浦安の舞伝承]
- [いずみの里太鼓]
- [ボランティア団体]
  - ・社会福祉協議会
- [女性活躍応援]
  - ・大泉母子愛育班
  - ・食生活改善推進委員会
- [地域の環境整備]
- [地域づくり]
- [水源環境整備]
- [お宝発見教育]
  - ・育成会
  - ・スポーツ少年団
  - ・小、中学校PTA
- [大泉遺跡史跡と親しむ会]



ふるさと夏祭り「花火大会」



水源環境整備



大和神楽



地域の環境整備

1区 下井出地区

1区は下井出・寺所・山崎住宅の3地区162世帯で構成され、地域性を活かした活動を工夫して行っています。

下井出地区では、7月に青年部を主体に祇園祭を分館の庭で行い、12月に保健師による8020運動の講演と歯磨き指導、グラウンドゴルフ大会を実施しました。スイカ割りなど老若男女楽しめる活動を実施しました。

寺所地区では陽気祭を地区の寄り処である上行寺を中心に実施しました。

この両地区は「大泉ふるさと夏祭り」に飲み物やくじ引きなどの露店を出店するなどの活動も行っています。

山崎住宅では7月に夏祭り、そして1月に餅つき大会を実施しました。大人も子どもも杵で餅を搗く経験が少なくなっている中で、衛生や安全に留意して楽しく活動を行い、地域の関わりを深めていました。

3地区合同の活動として、育成会活動を行っています。今年は旧高根北小学校に出来た、ボルダリングを講師の方に指導を受けながら、楽しく安全に実施しました。

今後も3地区の特色を活かした活動を実施していきます。 区長 浅川 出

地域づくり活動

8区 宮下地区

宮下地区では、令和6年度の年間行事作成にあたり、コロナ禍により分断を余儀なくされた地区住民の交流をどのように復活させるのが課題となりました。

この数年間、主だった行事が中止される中、新たに地区に加入された方や新生児、高齢者の交流は、ほぼ無くなってしまい、地区全体が暗くなっている様に感じました。

こうした中で、育成会や分館活動とも連携を図りながら、以前と同様に全ての行事を復活させる事が出来ました。

地区の夏祭りでは、子ども達の歓声が響き渡り、盆踊りやスイカ割り、花火などを楽しみ、焼きそばや焼き鳥に舌鼓を打ち、カラオケ大会も行い盛大に盛り上がりました。楽しいひと時に子どもから高齢者まで時を忘れ、「あの子はどこの家の子かな?」などの問いかけもあり、地域の関わり大切さを再確認する良い機会になったに違いないと確信しました。

長寿者の集いでは、70歳以上が参加し、講師の方と共に、それぞれ体の状況を確認しながらストレッチ体操を行い、和やかな雰囲気になりました。

同日には、育成会の子ども達を招き、自己紹介を行いながら交流を図り、会食を楽しみました。

元旦の朝、辺見神社に集合し、新年互礼会を行い、今年1年の地区の益々の発展と皆様の健康を祈念し参拝を行いました。

宮下地区住民との交流の重要性を肌で感じた1年でありました。 区長 中島 浩二